

# 清流 ニュース

発行所  
八王子市子安町 1-22-25  
清流寺  
清流ニュース編集室  
電話 (042) 646-0287 (代)  
FAX (042) 644-1164  
http://seiryuji.jp.org/

平成二十八年度総祈願  
本年 度 教 化 誓 願 達 成  
佛立開導日扇聖人ご生誕二百年慶讃  
佛立開花運動第四年度御奉公成就之御願  
農尊三十三回御諱報恩御奉公成就  
役中後継者養成・法灯相續促進

## 二月の御総講日

- 一日 九時半 御修行日
- 七日 十時 バースデー総講  
日序上人報恩祈念
- 十三日 十時 高祖御命日
- 十七日 九時半 開導御命日
- 十二日 九時半 於 清流寺  
高祖御逮夜
- 十六日 十時 開導御逮夜
- 廿八日 十時 於 羽村別院  
歡尊御命日

## 特別行事

- 廿一日 門祖日隆聖人御開山会  
午前十時三十分 始
- 晴天祈願  
十四日～廿日
- 第一座 六時～七時半
- 第二座 九時半～十時半

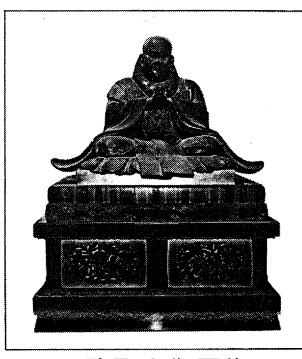
## 会議

- 一日 御総講後 役中会議
- 十七日 御総講後 教区長会議
- 日 午後二時 参事会

2月21日(日)  
10時30分

## 門祖日隆大聖人御開山会式 奉修御導師 松山・松風寺御高職 吉田日景導師

来る廿一日(日)午前十時三十分より、門祖日隆大聖人御開山会式(門祖会)が奉修されます。



日隆聖人御靈像

門祖日隆聖人  
御歌に  
此君のいまこりせし遠つちやの  
清きなれを誰かまし

今回は、松山・松風寺御高職・吉田日景導師をお迎えいたします。

松山・松風寺さんは、権大僧正日崇上人・権大僧正日祥上人、そして現在、日景導師と法灯が相續されています。殊に日崇上人は、救ライ活動にご尽力されました。又、日祥上人は、佛立事典の編集委員長等を歴任されております。

師後身と尊称申し上げ、御祖師様日蓮聖人のお生れ変わりとしてお敬い申し上げます。そのわけは、お祖師様のご入滅は、十月十三日で、それから百余年後の十月十四日に門祖日隆聖人がご生誕遊ばされました。

門祖聖人は、高祖ご入滅後だんだんと高祖のご遺志からはずれていった、日蓮門下にあつて、室町時代の混乱の中宗是を確立され、高祖の御本意を継承されました。このご事蹟に対して、開導聖人はご教歌で

門流の開基は祖師の御さいらい  
もとの宗旨にかへし給へり  
とお詠みになり、日隆聖人を讃えられたのです。

門祖会は、その日隆聖人への報恩の誠を捧げる意味から奉修されるのです。今年をはじめの御会式で、昨年の御会式はお計らいで、すべて晴天のご利益をいただきましたが、気象状況の不安定の本年ですから、是非とも晴天のお計らいがいただけるよう、十四日からの晴天祈願参詣にはご奉公者一人のこらず参詣にこころがけましょう。また、遠来のお客様をお迎えするわけですから昨年を上まわる参詣者で奉修させていただきますように、各教区、各部とも将引のご奉公にしっかりと取り組ましましょう。

諱報恩ご奉公円成をめざして一人でも多く参詣して熱捧を捧げましょう。

平成二十八年度  
受持教区発表

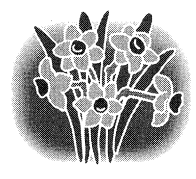
昭島 加藤日流師  
元八・八西・羽村 本庄乗学師  
立川・京王 安藤序典師  
八東・青梅 浅沼序説師  
八南・八北・日野 本庄序開師  
大和・国立・小金井 長谷川清泊師  
国分寺・小平・東村山 平松信応師

毎月七日  
全教区合同教化道場  
報恩ご奉公円成祈願

七日の御総講後、十二時三十分より一時間、全教区合同の教化道場を行います。

開導聖人ご生誕二百年慶讃  
ご奉公と日晨上人三十三回御

日序上人御十七回忌報恩ご奉公  
御有志奉納者氏名(その七十四)  
(教区順。敬称略。順不同)  
二十八年一月十九日現在  
合計九四五名、一、七九五口



## 日晨上人要語録

### 信の一字

人間の暮らしは、もちつ、もたれつというのが原則です。どんなにエライ人でも、自力だけでは暮らせません。多くの人や、物のおかげに依存して生きているのですから、社会という立場から見れば、みんな細胞で、全体に対して自分の役目を果たさなければ、

生存を許されません。したがって他との協力方法が下手だと、ヒドイ目にあります。人体にとって有毒なものは排泄され、大切なものは外に出ないように守られます。血液は大切ですから、誤って出血しても、スグ血が固まって切り口をふさごうとします。

同様に、社会でも有害な人は、刑務所に入れて害毒を他に及ぼさぬように、社会から締め出されますし、そこまできかないでも、人が嫌がつて目に見えない垣をされ、警戒されます。有害でもなく、有益でもない人は、排斥もされないが歓迎もされません。有益でいてくれないれば困るという人は、人から歓迎されて、多忙な日を送り、生活にも困らぬでしょう。

では有益な人とは、どういう人でしょうか。会社を例にとれば、会社が発展する図星

を心得て、それに役立つ働きを、自己の立場に依じてやる人が大事にされ、見当違いの力の入れ方をする人は喜ばれません。むしろ、発展を阻害する人は嫌われ、ときには首になるでしょう。ですから、ただ働いていけば、何とかなるといふようなネボケタヤリ方はだめで、要点を正確に把握して、それに協力することが肝要です。

信心上のご奉公でも、たとえば、総助行運動開始というときに、ご奉公の要点をまずつかみ、それを達成する良法

を考えると、その上で骨惜しみを考え、その上で骨惜しみをしない行動が大事です。当宗で最も強調する「信の一字」ということでも、ただ疑いなく、素直に聞くことだといふ一般の解釈だけでは満足できません。仏の意をくみ取って、特に力の入った点を間違いない信受することに努めることです。その仏の本心に即応する努力をしないで、単に仏説を信じて、方便や、随他意の仏説では、仏の真意を信ずることになりませんか。当宗の信心ではありません。それで、当宗の信者は、